



たっぷり遊び いっぱい勉強 のびゆく命 泰野っ子

校長 飛松 正文

泰野小学校に赴任し、泰野小のキャッチフレーズは、とてもいいなあ。と思いました。私自身も子供たちが、子供たち同士で遊ぶことはとても大切だと考えていたからです。そこで、今回は泰野の「た」たっぷり遊びが、なぜ大切なのかについて書かれた資料がありましたので御紹介したいと思います。出典「仲良く遊ぼう安全に」より抜粋【一般社団法人日本公園施設業協会】

★ 子どもにとって「遊び」は「学び」です

- ・ 様々な環境を通して自由で自発的な遊びを行うことは、こころとからだが発育・発達する上でとても重要です。
- ・ 例えば、探究心に基づく遊びを通して、こころに関することでは知能検査などではかかれる認知能力だけでなく非認知能力、からだに関することでは、体力、運動能力、危機回避能力が培われます。
- ・ 遊ぶ中で成功や失敗の経験をすることで「できること」と「できないこと」を学び、困難な状況から立ち直る力、レジリエンスを身に付けます。

非認知能力： 意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といったIQなどではかれない内面能力のこと

レジリエンス： 人間関係、経済、健康に関する逆境、トラウマ、悲劇、脅威などから起こるストレスにうまく対応する力

★ 外遊び・運動遊びの意義について

- ・ 楽しく身体を動かす遊びは、①**体力や運動能力の発達**、②**健康で丈夫な体とともに**、③**様々な活動への意欲や情緒性、創造性**などを育むことにつながります。
- ・ 外遊びの場で、友だちとの遊びだけでなく、大きな子どもと小さな子どもが一緒に活動する場面では、お互いに気を配り、仲良く遊ぶことで、④**社会性、協調性、道徳性や規範意識**を培います。
- ・ 子ども期の全身運動は、⑤**脳の運動制御機能や知的機能の発達促進にかかわり、将来の認知機能の維持・増進**にもつながります。

以上、たくさんの抜粋となりましたが、これまで私は上記の①②④の意義だけで、遊びは大切であると考えていました。しかし、この資料から、③⑤の意義もあることが分かりました。特に、意欲・情緒・創造性は、これからの不透明な時代に求められている力であり、認知機能の維持・増進は健康に生きていくためにも重要です。

今後も、子供たちが登校してくると、すぐに校庭に出て、異学年の集団で遊んだり、昼休みに元気いっぱい体を動かして遊んだりしていく中で、上記の力を身に付けてほしいと思います。そして、たっぷり遊んだ後は、集中して「いっぱい勉強」ができればと考えております。休日にはゲームではなく、広い校庭で、泰野っ子が集まって、けがには十分注意しながら仲良く「たっぷり遊ぶ」そんな姿が増えることを願っています。